

表1 タイの輸出におけるFTA利用額、利用率

(単位：%、100万ドル)

項目	2019年	2020年	2021年	前年比
FTA利用が可能な輸出額	85,694	75,885	97,622	28.6
FTAを利用した輸出額	65,560	58,077	76,313	31.4
FTA利用率	76.5	76.5	78.2	—

(出所) タイ商務省外国貿易局 (DFT)

表2 タイの輸出におけるFTA利用額、利用率 (協定別)

(単位：%、100万ドル)

協定	(A) FTA利用が可能な輸出額				(B) FTAを利用した輸出額				FTA 利用率 B/A
	2019年 金額	2020年 金額	2021年		2019年 金額	2020年 金額	2021年		
			金額	伸び率			金額	伸び率	
ASEAN (AFTA、ATIGA)	38,404	30,532	38,808	27.1	24,553	19,337	26,280	35.9	67.7
ASEAN中国 (ACFTA)	20,015	21,117	26,477	25.4	18,021	18,956	25,327	33.6	95.7
日本タイ (JTEPA)	7,981	7,516	8,443	12.3	7,070	6,168	6,691	8.5	79.3
タイ＝オーストラリア (TAFTA)	8,026	7,333	9,481	29.3	6,391	4,999	6,158	23.2	64.9
ASEANインド (AIFTA)	5,879	4,402	7,114	61.6	3,712	2,871	4,377	52.5	61.5
ASEAN韓国 (AKFTA)	3,468	3,571	4,870	36.4	2,841	2,526	3,493	38.3	71.7
ASEANオーストラリア (AANZFTA)	7,781	7,333	9,481	29.3	1,355	1,989	2,317	16.5	24.4
タイ＝チリ (TCFTA)	525	334	612	83.1	531	330	570	72.7	93.2
タイ＝インド (TIFTA)	1,214	843	1,174	39.3	559	436	523	19.9	44.5
ASEAN日本 (AJCEP)	8,114	7,602	8,561	12.6	386	328	354	7.8	4.1
ASEANニュージーランド (AANZFTA)	1,242	976	1,661	70.1	122	123	184	49.3	11.1
タイ＝ペルー (TPCEP)	20	19	38	104.2	18	16	39	143.2	102.9

(注) AFTA (ATIGA) は、発給されたフォームDの金額と、ASEANワイド自己証明制度 (AWSC) での自己証明の金額を計上してある。オーストラリアとニュージーランドが別計上されているが、AANZFTAは同一のFTA。

(出所) タイ商務省外国貿易局 (DFT)

表3 タイの輸出におけるFTA利用額、利用率 (国・地域別)

(単位：%、100万ドル)

国・地域	2019年			2020年			2021年			
	利用可能 輸出額	FTA利用 輸出額	FTA 利用率	利用可能 輸出額	FTA利用 輸出額	FTA 利用率	利用可能 輸出額	FTA利用 輸出額	伸び率	FTA 利用率
ASEAN	38,404	24,553	63.9	30,532	19,337	63.3	38,808	26,280	35.9	67.7
中国	20,015	18,021	90.0	21,117	18,956	89.8	26,477	25,327	33.6	95.7
オーストラリア	8,026	7,746	96.5	7,333	6,987	95.3	9,481	8,474	21.3	89.4
日本	8,114	7,456	91.9	7,602	6,495	85.4	8,561	7,045	8.5	82.3
インド	5,880	4,271	72.6	4,402	3,307	75.1	7,114	4,900	48.2	68.9
韓国	3,468	2,841	81.9	3,571	2,526	70.7	4,870	3,493	38.3	71.7
チリ	525	531	101.1	334	330	98.9	612	570	72.7	93.2
ニュージーランド	1,242	122	9.8	976	123	12.6	1,661	184	49.3	11.1
ペルー	20	18	91.7	19	16	86.4	38	39	143.2	102.9
合計	85,694	65,560	76.5	75,885	58,077	76.5	97,622	76,313	31.4	78.2

(注1) 過去の輸出に対する原産地証明書発給や、翌月の輸出に対する発給分が計上されているため、利用率が100%を超えることがある。

(注2) インドはTIFTAとAIFTA、オーストラリアはTAFTAとAANZFTA (オーストラリア向け)、日本はJTEPAとAJCEPでの利用を示す。